

まなざしの交差 2011/3/1(火)～6/5(日)

植田正治の「撮ること」「撮られること」

「まなざしの交差」と題した今回の展覧会のテーマは、「撮ること」と「撮られること」です。

カメラを向けられ、素直に反応する無邪気な子どもたちや素朴な人々の姿は、植田正治の写真の中で特に印象的です。そこにカメラがある事を意識させないように撮ることが“自然”であるという考え方もありますが、植田は「人にカメラを向けた時に、カメラを意識するなということの方が不自然だ」と語ります。つまり「カメラを意識させ、真正面から撮る」ことは、被写体とストレートに、そして真摯に向きあうことの表明であり、それによって生じる様々なコミュニケーションを植田は楽しんだのでしょう。

1950年代後半から70年代にかけて山陰地方で撮影された子どもたちや人々の魅力的な表情は、まさに植田と被写体との「まなざしの交差」の証であり、記憶です。これらのイメージは、携帯電話やデジタルカメラでの単なる記録のような撮影に慣れてしまった私たちに、「写真すること」の楽しさをあらためて語りかけてくれます。

シリーズ〈童暦〉や〈小さい伝記〉を中心に、戦前の演出写真や1980年代のファッション写真をあわせて展示し、「撮る」「撮られる」を強く意識した植田の写真スタイルをご紹介します。「ひと」に向けられたヒューマンな「まなざし」を浮き彫りにします。



シリーズ〈小さい伝記〉より 1974～85年

◆開館時間：9：00～17：00（最終入館は16：30）

◆休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌日）但し3月1日、5月3日～5日は開館
※ご来館の際には下欄の町民無料招待券を切り取ってご利用ください。

問い合わせ先 伯耆町立植田正治写真美術館 ☎39-8000

矢野	松原	松岡	大塚
想介	詩奈	宏志郎	葵
男	女	男	女
夏美	純子	恵理香	美沙
溝口	溝口	坂長	大殿



町民無料招待券

本券を切り取ってご利用ください

まなざしの交差

植田正治の「撮ること」「撮られること」

2011/3/1(火)～6/5(日)

9:00～17:00 (最終入館は16:30)

※本件1枚ご持参で一世帯様無料でご覧いただけます。
伯耆町立植田正治写真美術館 伯耆町須村353-3

TEL 39-8000 FAX 68-3600